

201324058B

厚生労働科学研究費補助金

難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）

患者会を中心とした肺高血圧症の前向き症例  
登録研究の開発と予後調査に関する研究

平成24年度～25年度 総合研究報告書

研究代表者 田村 雄一

（慶應義塾大学）

平成26年（2014）年3月



厚生労働科学研究費補助金

難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）

患者会を中心とした肺高血圧症の前向き症例  
登録研究の開発と予後調査に関する研究

平成24年度～25年度 総合研究報告書

研究代表者 田村 雄一

（慶應義塾大学）

平成26年（2014）年3月

# 目 次

## I. 総合研究報告

- 患者会を中心とした肺高血圧症の前向き症例登録研究の開発と予後調査・・・・・・・・・・ 2  
研究代表者 田村 雄一

## II. 平成24年度分担研究報告

1. 患者への疾患啓蒙活動の研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21  
福田 恵一 国枝 武義
2. 膠原病性肺動脈性高血圧に関する研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25  
佐藤 徹
3. 肺動脈性肺高血圧症合併妊娠の経過に関する研究・・・・・・・・・・・・・・・・ 27  
中西 宣文
4. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症、肺動脈性肺高血圧症に関する研究・・・・・・・・ 30  
巽 浩一郎
5. 運動負荷心エコー検査と運動負荷右心カテーテル検査による早期診断の試みに関する研究・・ 34  
吉田 俊治
6. 肺高血圧症症例の臨床研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38  
松原 広己
7. 肺高血圧症症例の臨床研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40  
八尾 厚史
8. ①九州大学病院の肺高血圧症専門外来患者の病型調査および予後調査・・・・・・・・ 42  
②医療従事者に対する地域密着型の肺高血圧症教育活動に関する調査研究  
阿部 弘太郎・・・・・・・・・・
9. 日本人膠原病関連肺動脈性肺高血圧症患者の臨床特徴と予後に関する研究・・・・・・・・ 45  
桑名 正隆
10. 小児科領域における肺高血圧症の症例登録、予後調査および疾患発症機序に関する研究・・ 49  
山岸 敬幸

### Ⅲ. 平成25年度分担研究報告

1. 肺高血圧症における心音所見に関する研究 . . . . . 52  
佐藤 徹
2. 遺伝子変異例に注目した国立循環器病研究センター例の長期予後の解析に関する研究 . . . . . 54  
中西 宣文
3. 肺動脈性肺高血圧症、慢性血栓塞栓性肺高血圧症に関する研究 . . . . . 56  
巽 浩一郎
4. 膠原病に伴う肺高血圧症における免疫抑制療法についての意識に関する研究 . . . . . 66  
吉田 俊治
5. 岡山医療センターにおける特発性/遺伝性肺動脈性肺高血圧症患者の予後に関する研究 . . . . . 69  
松原 広己
6. 肺動脈性肺高血圧症を合併した未修復心房中隔欠損の治療に関する研究 . . . . . 71  
八尾 厚史
7. 九州大学病院の肺高血圧症専門外来患者の病型調査および予後調査 . . . . . 77  
阿部 弘太郎
8. 膠原病患者における肺動脈性肺高血圧症リスク因子に関する研究 . . . . . 80  
桑名 正隆
9. 小児科領域における肺高血圧症の症例登録、予後調査および疾患発症機序に関する研究 . . . . . 84  
山岸 敬幸

### Ⅳ. 研究成果の刊行に関する一覧表 . . . . . 87

### Ⅴ. 研究班名簿 . . . . . 104

# I. 総合研究報告

患者会を中心とした肺高血圧症の前向き症例登録研究の開発と予後調査

研究代表者：田村 雄一 慶應義塾大学医学部循環器内科 特任助教

**研究要旨**

肺高血圧症は極めて予後不良の難治性疾患であるが、近年治療薬の登場により予後が改善している。本邦では高い薬価の薬剤が併用される一方で、治療効果を検討する領域横断的な症例登録研究は皆無であった。国際的には米国等より既に数千例規模の症例登録研究の報告がなされ、予後因子の検討や治療の妥当性の解析が行われている。本研究ではこれまで本邦で行われて来なかった肺高血圧症に対する初の他施設共同症例登録研究を開始し、200例を超える登録が完了した。また登録にあたり海外のものと同様のフォーマットを採用することで、他国の治療成績や予後因子と本邦のものを直接比較する事が可能となり、また各治療法の対費用効果に関しても検討を行う事を予定している。集積されたデータは翌年度以降もフォローアップを行うことで、詳細な予後調査が可能となる。また研究分担者における検討では、大規模診療施設や各領域における肺高血圧症の疫学検討が行われ、日本における疫学および診療実態が明らかになっていると同時に、スクリーニングの重要性を強調する報告も行われている。

また得られた知見を医療従事者だけではなく患者会というチャンネルを通して幅広く浸透させることで、診療水準および患者啓蒙・患者教育の向上を図るとともに、患者同士のコミュニケーションをインターネットを用いて促進した。具体的には、疾患に関する情報をホームページで提供するという従来型の方法だけではなく、患者主体の症例登録・ソーシャルネットワークサービスサイトも立ち上げて、患者同士のピアサポートの充実を図るとともに、より専門医による医療の提供を享受しやすい環境を整備した。

研究分担者における検討では、大規模診療施設や各領域における肺高血圧症の疫学検討が行われ、日本における疫学および診療実態が明らかになっていると同時に、スクリーニングの重要性を強調する報告も行われている。

**研究分担者**

福田 恵一	慶應義塾大学医学部循環器内科 教授	阿部 弘太郎	九州大学大学院医学研究院 先端循環制御学 助教
佐藤 徹	杏林大学医学部循環器内科 教授	宮田 裕章	東京大学大学院医学系研究科 医療品質評価学講座 准教授
国枝 武義	化学療法研究所附属病院循環器内科 教授	桑名 正隆	慶應義塾大学医学部リウマチ内科 准教授
中西 宣文	国立循環器病研究センター 研究所肺高血圧先端医療学研究所 部長	山岸 敬幸	慶應義塾大学医学部小児科 (小児循環器) 准教授
巽 浩一郎	千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学 教授		
吉田 俊治	藤田保健衛生大学リウマチ内科 教授		
松原 広己	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 臨床研究部長		
八尾 厚史	東京大学保健・健康推進本部 講師		

## A. 研究目的

肺高血圧症は希少難病疾患であり、特発性肺動脈性肺高血圧症の発症頻度は 100 万人に数名とされている。従来は効果的な治療法がなかったものの、1999 年のエボプロステノールの承認以降予後は劇的に改善している。慶應義塾大学病院は 1999 年より肺高血圧症専門外来を開設し、累計 500 名以上の肺高血圧症患者の診療を行い、劇的に疾病予後を改善してきた。一方近年欧米では予後因子の推定やさらに効果的な治療法を探索するべく症例登録研究が多数遂行され、米国の REVEAL レジストリの報告(Circulation 2010;122;164-172)からは予後因子や予後を推定する計算式が提唱されている。

本邦では薬剤の使用水準は高いものの、肺高血圧症に特化した症例登録研究はなく、治療水準を国際比較できる土台が整っていなかった。そこで我々は欧州で進行している症例登録研究 CompERA(<http://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT01347216>)と連携し、同じ評価項目を登録・検証することで、本邦で初めて治療効果・予後調査を行うと共に他国のものと直接比較を開始した。平成 24 年度には日本におけるデータベースシステムを立ち上げを行い他国と同規模の登録研究を開始した。また肺高血圧症は領域横断的な疾患であるため、従来の難病研究班の枠組みでは網羅的な症例研究は困難であった。しかし本研究では呼吸不全調査研究班および MCTD 調査研究班と肺高血圧症大規模診療施設のスタッフを分担研究者として All Japan 体制の肺高血圧症調査研究班を組織した。そのため領域横断的な肺高血圧症の網羅的診療実態・予後調査が可能となった。

また研究班が各地域や全国規模で患者会をサポートするなどして患者向けの情報提供も同時に行ない、患者の疾病理解・コンプライアンス向上と啓発を施行している。本研究において平成 25 年度には

(1)患者からの情報発信が可能な患者中心の症例登録サイトの構築を行う (2) 国内での症例登録をすすめエビデンスを発信すると同時に専門施設以外の診療水準の引き上げを行う。すでに我々は日本最大の肺高血圧症患者団体である NPO 法人 PAH の会(<http://www.pha-japan.ne.jp>)と共同で疾患の啓発活動に継続的にあたっており、患者教育・啓蒙活動への還元を速やかに開始する体制が整っている。専門医と患者が一体化したシステムを構築することにより、製薬会社との有機的な連携およびシステム全体に関してのセルフファンディングが可能な体制を構築する。

## B. 研究方法

(1) 患者を中心とした症例登録 Web サイトの開発・運用

本研究班は、すでに患者中心の症例登録システムを開発途上にある JPA 班と協力して、患者からも発信できる症例登録システム・SNS を立ち上げ、

日本のどこに住んでいても情報交換ができるような体制を整えていくとともに、(2)に示すシステムと一体化運用が可能となるコンソーシアムを設立する。

(2) 国内症例登録用のデータベースサーバーの構築・症例登録

本研究において平成 24 年度に Web ベースの症例登録研究専用システムを作成し、症例登録を開始した。また当研究班の班会議において既存の難病疾患班研究との協議した結果、従来の呼吸不全に関する調査研究班による症例登録では全体の 25%-30%を占める膠原病に伴う肺高血圧症の症例登録が欠落していることが喫緊の課題として明らかとなった。そこで本研究では混合性結合組織病の病態解明、早期診断と治療法の確立に関する研究班長の吉田俊治が分担研究者と務めることで、自己抗体など膠原病の肺高血圧症の特徴も加味した、日本初の領域横断的な症例登録システムを本邦で初めて運用開始した。

(倫理面への配慮)

症例登録研究に関してはすでに慶應義塾大学医学部の倫理委員会に申請し、認可を得ている(承認番号 2010-227)。研究協力機関においても同様の手続き後に症例登録を開始する。症例登録時には患者本人に承認を受けた同意説明文書を用いて説明・同意取得を行うよう義務付けられており、それを遵守する。また登録されたデータにおいては直接個人情報特定されることなく匿名化されている。さらに患者に情報提供を行う際にはいかなる媒体であっても個人が特定されるものが提供されることはないよう配慮するため、特に問題となることはない。

## C. 研究結果

### 研究班全体としての研究成果

(1) 患者を中心とした症例登録 Web サイトの開発・運用開始

次世代の難病対策を推進する情報提供手段として、米国で進行している患者自身による症例登録システムの運用とそれを用いた難病患者の QOL 解析などを行う。今年度、他の研究班と連携のうえで患者自身による症例登録システムの開発および立ち上げをおこなった。

本システムは、患者自身により症例登録を行い、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)形式の情報交換を患者同士が行う事で、どこに住んでいても患者同士のピアサポートが可能な体制を整えることができた(図 1)。本システムは患者同士のコミュニケーションおよび情報交換を行い、難病治療における生活環境や治療水準および QOL の改善に結びつくだけでなく、患者立脚型アウトカムに関する研究の母体にもなる。それにより情報の地域格差の是正と、専門医への受診促進が期待でき、さらに患者が生活上で具体的に困ることを、量的/質的に分析できるため、患者の生活の質の向上につながる。すでに 100 名以上の患者が本

サイトに登録・利用を開始しており、ピアサポートの体制が整っている。



図1：患者自身による症例登録サイト  
“患者のひろば”  
<https://hiroba.japanph.com/>

また、全国の患者が本システムにアクセスできる環境整備のため、疾患に関するインターネット情報サイトの立ち上げを行った(図2)。本サイトから患者および家族向けに最新の医療・ケアの情報だけではなく専門医の情報も広く国民に提供しており、難病情報センターとも連携している。本サイトにはすでに7000件を超えるアクセスがあり、日本全国の患者への情報提供に寄与している。



図2：患者情報サイト“肺高血圧症のひろば”  
<https://japanph.com/index.html>

(2) 国内症例登録用のデータベースサーバーの構築・症例登録

本研究において平成24年度にWebベースの症例登録研究専用システム(図3)を作成し、症例登録を開始した。すでに参加12施設から200例を超える症例登録が行われており、平成26年度中には本邦初の多施設共同レジストリの成果が論文発表さ

れる見込みである。

また分担研究をしている3施設(慶應大学・杏林大学・岡山医療センター)での3施設での特発性肺動脈性肺高血圧症患者における予後の解析では、本邦の治療成績が他国のそれよりも優れていることが明らかとなった(図3)。

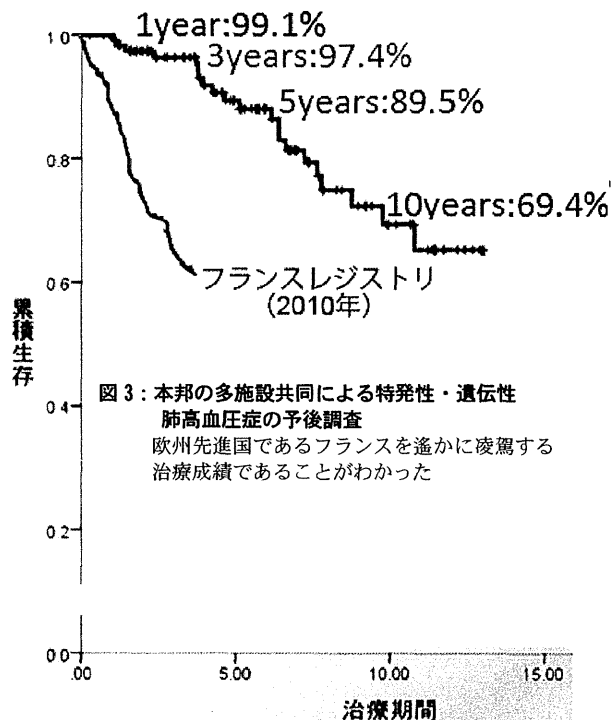


図3：本邦の多施設共同による特発性・遺伝性肺高血圧症の予後調査  
欧州先進国であるフランスを遙かに凌駕する治療成績であることがわかった

以上のような成果は、2013年2月にフランスで行われた第5回肺高血圧ワールドシンポジウム(今後5年間のガイドライン策定会議)に採択され、世界にむけての発信が行われた。

さらに、本システムでは他の肺高血圧症に関連する領域別の研究班とも連携を行っており、混合性結合組織病の病態解明、早期診断と治療法の確立に関する研究班長の吉田俊治が分担研究者と務めることで、自己抗体など膠原病の肺高血圧症の特徴も加味したシステムとなっている。他にも呼吸不全調査研究班との連携により、研究班の巽浩一郎が分担研究者と務めることで、本邦で初めて呼吸器疾患に伴う肺高血圧症における他施設共同の前向きな調査登録研究を開始することができた。Japan Respiratory PH Study(UMIN000011541)

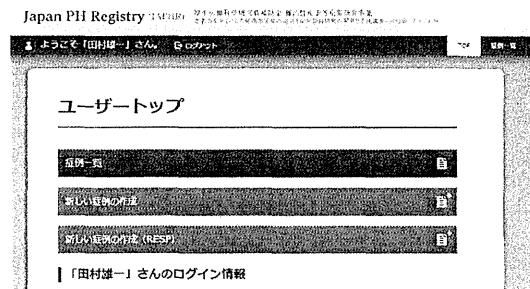


図4：Web症例登録システムの入力画面  
URL:<https://japanph.com/ph/registry/>



## D. 考察

本研究では全国各地の分担研究者が診療のみならず各地域における疾患啓蒙活動を促進しているため、疾患の早期診断と専門医への集約も促されることが期待される。

### 1) 研究成果の学術的・国際的・社会的意義

本邦初の領域横断的な症例登録研究を行うことにより、初めて日本における肺高血圧症の診療実態・予後が判明することは、臨床現場への還元のみならず国際的な肺高血圧症の知見の増加に寄与することから極めて意義深い。また診療施設間格差も明らかになることから、日本全国における肺高血圧症診療水準の底上げにも寄与する。

### 2) 今後の展望について

本研究班によるレジストリ研究活動の成果は、他の研究班および関連学会と合同で5年以内には本邦のNational Registryからの知見として治療ガイドラインに盛り込む。また患者中心の症例登録に関しては、前述したような生活の質の改善や専門医受診を促進するだけでなく、全国における患者分布なども判明することから、治験の実施などに対しても有効に活用するとできると考えられる。

さらに本研究班の活動によりこれまで領域別に行われてきた難病支援対策が、初めて領域横断的に行われるようになった事は、他の難治性疾患克服事業に対してもモデルケース事業となる可能性が高い。

## E. 結論

本研究は肺高血圧症という難病を対象とし、患者会が参画した研究であり、循環器・呼吸器・膠原病・小児科などの広い範囲の専門医が領域横断的に参画した研究である。患者中心の症例登録システムは本研究の主題であり、今後闘病生活における生活の質の改善や、専門医への集約化に貢献できることが期待できる。さらに専門医同士をレジストリシステムで結ぶことから、本研究班を主体として肺高血圧症診療を全国規模でネットワーク化することができた。

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

平成24年度

1) Tamura Y, Nakajima Y, Ozeki Y, Ono T, Takei M, Yamamoto T, Fukuda K. Temperature Variations around Medication Cassette and Carry Bag in Routine Use of Epoprostenol Administration in Healthy Volunteers. 27 Dec 2012 PLOS ONE 10.1371/journal.pone.0052216

2) Tamura Y, Ono T, Kuwana M, Inoue K, Takei M, Yamamoto T, Kawakami T, Fujita J, Kataoka M, Kimura K, Sano M, Daida H, Satoh T, Fukuda K. Human pentraxin 3 (PTX3) as a

novel biomarker for the diagnosis of pulmonary arterial hypertension. PLoS One. 2012;7(9):e45834.

3) Tamura Y, Ono T, Sano M, Fukuda K, Kataoka M, Satoh T. Favorable effect of sorafenib in a patient with neurofibromatosis-associated pulmonary hypertension. Am J Respir Crit Care Med. 2012;186(3):291-2.

4) Tamura Y, Sukegawa H, Ono T, Sano M, Fukuda K. Unfavourable effect of pulmonary arterial dilatation in pulmonary hypertension. Cardiology. 2012;122(2):101-2

5) Kohsaka S, Nagai T, Yaegashi M, Fukuda K. Pulmonary embolism and deep venous thrombosis in hospitalized patients with liver cirrhosis. Hepatol Res. 2012;42(4):433-4.

6) Yamada Y, Okuda S, Kataoka M, Tanimoto A, Tamura Y, Abe T, Okamura T, Fukuda K, Satoh T, Kuribayashi S. Prognostic value of cardiac magnetic resonance imaging for idiopathic pulmonary arterial hypertension before initiating intravenous prostacyclin therapy. Circ J. 2012;76(7):1737-43.

7) Yanagisawa R, Kataoka M, Taguchi N, Kawakami T, Tamura Y, Fukuda K, Yoshino H, Satoh T. Impact of First-Line Sildenafil Monotreatment for Pulmonary Arterial Hypertension. Circ J 2012; 76: 1245-1252

8) 佐藤徹：呼吸器疾患・肺高血圧と心不全（右心不全）。Medical Practice 29-2, 279-290, 2012.

9) 佐藤徹：肺高血圧症の最新の薬物療法。Heart Vie 別冊 16-3, 87-91, 2012.

10) 佐藤徹：ESC/ERS 肺高血圧症ガイドラインの解説。医学のあゆみ 240-1, 5-12, 2012.

11) 佐藤徹：肺高血圧症の新しい展開「序文」。呼吸と循環 60-1, 9, 2012.

12) 佐藤徹, 柳澤亮爾, 片岡雅晴：PDE 5 阻害剤の長期効果に関する報告。呼吸と循環 60-1, 11-17, 2012.

13) 佐藤徹：イマチニブー肺動脈性肺高血圧症治療薬。分子呼吸器病 16-1, 109-110, 2012.

14) 佐藤徹：肺高血圧症の最新の薬物療法。東灘連 6400, 2-7, 2012.

15) 佐藤徹：右心不全の診断。呼吸器 2012, 126-128, 2012.

16) 佐藤徹：肺高血圧症の治療薬 3) ET-1 受容体拮抗薬, 呼吸器内科, 21 (2), 169-172, 2012.

17) 佐藤徹：肺高血圧症の薬物治療の進歩, 呼吸と循環, 60-8, 849-854, 2012.

18) 佐藤徹：高齢者の末梢血管疾患の病態、臨床的特徴と診断・治療上の注意, Circulation, 2-10, 96-100, 2012.

19) 佐藤徹：特発性肺動脈性肺高血圧に対する治療：新しい薬剤の登場, Pharma Medica, 30-11,

- 19-22, 2012.
- 20) 佐藤徹：肺動脈性肺高血圧症. THE LUNG19-4. 28-34, 2011.
- 21) Masaharu Kataoka, Ryoji Yanagisawa, Keiichi Fukuda, Hideaki Yoshino, Toru Satoh : Sorafenib Is Effective in the Treatment of Pulmonary Veno-Occlusive Disease , *Cardiology*, 123, 172-174, 2012.
- 22) T. Nagatomo, T. Saraya, Y. Masuda, K. Yokyama, S. Hiraoka, M. Nakamura, A. Nakajima, S. Takata, T. Yokoyama, H. Ishii, T. Inami, T. Satoh, H. Kubota, H. Takizawa, H. Goto: Two cases of bilateral bronchial artery varices: One with and one without bilateral coronary-to-pulmonary artery fistulas. Review and characterization of the clinical features of bronchial artery varices reported in Japan, *Clinical Radiology*, 67, 1212-1217, 2012.
- 23) T. Satoh, Y. Okada, Y. Hara, F. Sakamaki, S. Kyotani, T. Tomita, N. Nagaya, N. Nakanishi: Time-Course of Ventilation, Arterial and Pulmonary CO<sub>2</sub> Tension During CO<sub>2</sub> Increase in Humans, *Arterial Chemoreception*, 63-70, 2012.
- 24) 佐藤徹：診察法南江堂（身体所見のとり方）. 肺高血圧症診療マニュアル. 伊藤浩, 松原広己編. 東京. 南江堂, 100-101. 2012.
- 25) 佐藤徹：肺高血圧症：, 肺高血圧症治療ガイドライン, 診療ガイドライン UP-TO-DATE, 278-284, 2012.
- 26) 佐藤徹：血圧異常③ 肺高血圧, これで決まり！循環器治療薬 ベストチョイス, 106-114, 2012.
- 27) 大郷剛 中西宣文 循環器疾患にたいする薬物療法の基本 肺高血圧症 *medicina* 2012 49 54-57
- 28) 大郷剛 中西宣文：肺高血圧症、ガイドライン外来診療 2012、泉 孝英、(編)、日経メディカル開発、東京、pp. 398-401、2012
- 29) 中西宣文：肺高血圧症の自然歴と治療介入後の予後、肺高血圧症臨床マニュアル、伊藤浩・松原広己、(編)、南江堂、東京、pp. 21-26、2012
- 30) 中西宣文：肺高血圧症の分類（ダナポイントの肺高血圧症臨床分類）、肺高血圧症臨床マニュアル、伊藤浩・松原広己、(編)、南江堂、東京、pp. 2-5、2012
- 31) 中西宣文：原発性肺高血圧症、今日の治療指針、山口徹・北原光夫、福井次矢 (編)、医学書院、東京、pp. 297-298、2012
- 32) 中西宣文 肺高血圧症の過去・現在・未来 呼吸器内科 2012 21 101-107
- 33) 中西宣文 結合組織病に合併する肺高血圧症臨床リウマチ 2012 24 106-112
- 34) 岩上直嗣 高木弥栄美 出町順 大郷剛 宮地克維 中西宣文 急性肺血管反応性試験陽性の強皮症合併肺高血圧症においてボセンタンが肺高血圧症とレイノー現象の改善に有効であった 1 例 *Modern Physician* 2012 32 2-4
- 35) 高木弥栄美 中西宣文：多剤併用療法の新展開、炎症と免疫、2012 20 36-40
- 36) 中西宣文 サルコイドーシスに合併する肺高血圧症の病態と治療 日サ会誌 2012-32-39
- 37) 中西宣文 肺高血圧症の新しい分類・疫学と治療 *Pharma Medica* 2012 30 9-12
- 38) Tanabe N, Sugiura T, Jujo T, Sakao S, Kasahara Y, Kato H, Masuda M, Tatsumi K. Subpleural perfusion as a predictor for a poor surgical outcome in chronic thromboembolic pulmonary hypertension. *Chest* 2012; 141(4): 929-934.
- 39) Li Q, Kawamura K, Yamanaka M, Okamoto S, Yang S, Yamauchi S, Fukamachi T, Kobayashi H, Y, Takiguchi Y, Tatsumi K, Shimada H, Hiroshima K, Tagawa M. Upregulated p53 expression activates apoptotic pathways in wild-type p53-bearing mesothelioma and enhances cytotoxicity of cisplatin and pemetrexed. *Cancer Gene Ther.* 2012; 19 (3): 218-228.
- 40) Sakao S, Tanabe N, Kasahara Y, Tatsumi K. Survival of Japanese patients with pulmonary arterial hypertension after the introduction of endothelin receptor antagonists and/or phosphodiesterase type-5 inhibitors. *Intern Med* 2012; 51:2721-2726.
- 41) Nagakawa H, Shimozato O, Yu L, Wada A, Kawamura K, Li Q, Chada S, Tada Y, Takiguchi Y, Tatsumi K, Tadawa M. Expression of a murine homolog of apoptosis-inducing human IL-24/MDA-7 in murine tumors fails to induce apoptosis or produce anti-tumor effects. *Cell Immunol.* 2012; 275:90-97.
- 42) Ashinuma H, Takiguchi Y, Kitazono S, Kitazono-Saitoh M, Kitamura A, Chiba T, Tada Y, Kurosu K, Sakaida E, Sekine I, Tanabe N, Iwama A, Yokosuka O, Tatsumi K. Antiproliferative action of metformin in human lung cancer cell lines. *Oncol Rep* 2012; 28:8-14.
- 43) Yamanaka M, Tada Y, Kawamura K, Li Q, Okamoto S, Chai K, Yokoi S, Liang M, Fukamachi T, Kobayashi H, Yamaguchi N, Kitamura A, Shimada H, Hiroshima K, Takiguchi Y, Tatsumi K, Tagawa M. E1B-55 Kda-Defective Adenoviruses Activate p53 in Mesothelioma and Enhance Cytotoxicity of Anticancer Agents. *J Thorac Oncol.* 2012; 7(12):1850-1857.
- 44) Maruoka M, Sakao S, Kantake M, Tanabe N, Kasahara Y, Kurosu K, Takiguchi Y, Masuda M, Yoshino I, Voelkel NF, Tatsumi K. Characterization of myofibroblasts in chronic

- thromboembolic pulmonary hypertension. *Int J Cardiol* 2012; 159: 119-127.
- 45) Kitazono-Saitoh M, Takiguchi Y, Kitazono S, Ashinuma H, Kitamura A, Tada Y, Kurosu K, Sakaida E, Sekine I, Tanabe N, Tagawa M, Tatsumi K. Interaction and cross-resistance of cisplatin and pemetrexed in malignant pleural mesothelioma cell lines. *Oncol Rep* 2012; 28:33-40.
- 46) Okamoto S, Kawamura K, Li Q, Yamanaka M, Yang S, Fukamachi T, Tada Y, Tatsumi K, Shimada H, Hiroshima K, Kobayashi H, Tagawa M. Zoledronic acid produces antitumor effects on mesothelioma through apoptosis and S-Phase arrest in p53-independent and ras prenylation-independent manners. *J Thorac Oncol.* 2012; 7(5):873-882.
- 47) Ishizaki S, Kasuya Y, Kuroda F, Tanaka K, Tsuyusaki J, Yamauchi K, Matsunaga H, Iwamura C, Nakayama T, Tatsumi K. Role of CD69 in acute lung injury. *Life Sci* 2012; 90:657-665.
- 48) Jujo T, Sakao S, Kantake M, Maruoka M, Tanabe N, Kasahara Y, Kurosu K, Masuda M, Harigaya K, Tatsumi K. Characterization of sarcoma-like cells derived from endarterectomized tissues from patients with CTEPH and establishment of a mouse model of pulmonary artery intimal sarcoma. *Int J Oncol* 2012; 41:701-711.
- 49) Kono C, Yamaguchi T, Yamada Y, Uchiyama H, Kono M, Takeuchi M, Sugiyama Y, Azuma A, Kudob S, Sakurai T, Tatsumi K. Historical changes in epidemiology of diffuse panbronchiolitis. *Sarcoidosis vasculitis and diffuse lung diseases.* 2012; 29: 16-25.
- 50) Shigeta A, Tada Y, Wang JY, Ishizaki S, Tsuyusaki J, Yamauchi K, Kasahara Y, Iesato K, Tanabe N, Takiguchi Y, Sakamoto A, Tokuhisa T, Shibuya K, Hiroshima K, West J, Tatsumi K. CD40 amplifies Fas-mediated apoptosis: a mechanism contributing to emphysema. *Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol* 2012; 303(2):L141-151.
- 51) Igari H, Watanabe A, Segawa S, Suzuki A, Watanabe M, Sakurai T, Watanabe M, Tatsumi K, Nakayama M, Suzuki K, Sato T. Immunogenicity of a monovalent A/H1pdm vaccine with or without prior seasonal influenza vaccine administration. *Clin Vaccine Immunol.* 2012; Epub Aug 1.
- 52) Sugiura T, Tanabe N, Matsuura Y, Shigeta A, Kawata N, Jujo T, Yanagawa N, Sakao S, Kasahara Y, Tatsumi K. Role of 320-slice computerd tomography in the diagnostic of patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension. *Chest.* 2012; Epub Oct 22.
- 53) Fessel JP, Hamid R, Wittmann BM, Robinson LJ, Blackwell T, Tada Y, Tanabe N, Tatsumi K, Hemnes AR, West JD. Metabolic analysis of bone morphogenetic protein receptor type 2 mutations in human pulmonary endothelium reveals widespread metabolic reprogramming. *Pulmonary Circulation* 2012; 2(2):201-213
- 54) Ishida K, Masuda M, Tanabe N, Matsumiya G, Tatsumi K, Nakajima N. Long-term outcome after pulmonary endarterectomy for chronic thromboembolic pulmonary hypertension. *J Thorac Cardiovasc Surg* 2012; 144(2):321-326
- 55) Sakairi Y, Saegusa F, Yoshida S, Takiguchi Y, Tatsumi K, Yoshino I. Evaluation of a learning system for endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspiration. *Respir Investig* 2012; 50(2):46-53
- 56) Kawabata Y, Takemura T, Hebisawa A, Sugita Y, Ogura T, Nagai S, Sakai F, Kanauchi T, Colby TV, Desquamative Interstitial Pnuemonia Study Group (Tatsumi K, et al). Desquamative interstitial pnuemonia may progress to lung fibrosis as characterized radiologically. *Respirology* 2012; 17: 1214-1221
- 57) Sakao S, Tatsumi K. Molecular mechanisms of lung-specific toxicity induced by epidermal growth factor receptor tyrosine kinase inhibitors. *Oncol Lett* 2012; 4(5): 865-867.
- 58) Jujo T, Sakao S, Oide T, Tatsumi K. Metastatic gastric cancer from squamous cell lung carcinoma. *Intern Med* 2012; 51:1947-1948
- 59) 吉田俊治、わが国の膠原病性肺高血圧症 欧米例との差違、*Cardiac Practice* 24 巻 1 号 65-68. 2013
- 2012.
- 60) 登坂信子、吉田俊治、日常診療に役立つ膠原病診療 混合性結合組織病 (MCTD)、成人病と生活習慣病 42 巻 8 号、967-971、2012
- 61) 吉田俊治、膠原病の臓器別治療戦略 膠原病性肺高血圧症の特徴と治療戦略、*日本皮膚科学会雑誌*、122 巻 7 号、1781、2012
- 62) 吉田俊治、深谷修作、医学と医療の最前線 混合性結合組織病の診断と治療の進歩、*日本内科学会雑誌*、101 巻 5 号、1413-1419、2012
- 63) Ogawa A, Miyaji K, Yamadori I, Shinno Y, Miura A, Kusano KF, Ito H, Date H, Matsubara H. Safety and efficacy of epoprostenol therapy in pulmonary veno-occlusive disease and pulmonary capillary hemangiomatosis. *Circ J.* 2012;76:1729-36.
- 64) Mizoguchi H, Ogawa A, Munemasa M;

- Mikouchi H, Ito H; Matsubara H. Refined balloon pulmonary angioplasty for inoperable patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension. *Circ Cardiovasc Interv.* 2012;5:748-55.
- 65) 小川 愛子, 松原 広己最近の肺高血圧治療法, 検査と技術, 第40巻11号1306-1308, 2012.
- 66) Atsushi Yao. Facilities for adult congenital heart disease from the viewpoints of the cardiologists. *Journal of Adult Congenital Heart Disease.* 2012;1:17-23
- 67) Abe K. Do electrocardiography scores predict the presence of right ventricular dysfunction in patients with pulmonary hypertension? *Intern Med.* 2012;51(17):2261-2. 2012.
- 68) Alzoubi A, Toba M, Abe K, O'Neill KD, Rocic P, Fagan KA, McMurtry IF, Oka M. Dehydroepiandrosterone Restores Right Ventricular Structure and Function in Rats with Severe Pulmonary Arterial Hypertension. *Am J Physiol Heart Circ Physiol.* 2013 In press.
- 69) Tamura Y, Ono T, Kuwana M, Inoue K, Takei M, Yamamoto T, Kawakami T, Fujita J, Kataoka M, Kimura K, Sano M, Daida H, Satoh T, and Fukuda K. Human pentraxin 3 (PTX3) as a novel biomarker for the diagnosis of pulmonary arterial hypertension. *PLoS One.* 2012; 7(9): e45834.
- 70) Shirai Y, Yasuoka H, Okano Y, Takeuchi T, Satoh T, and Kuwana M. Clinical characteristics and survival of Japanese patients with connective tissue disease and pulmonary arterial hypertension: a single-center cohort. *Rheumatology.* 2012; 51(10): 1846-1854.
- 71) Yasuoka H, and Kuwana M. Combined interstitial lung disease and pulmonary hypertension in systemic sclerosis: pathophysiology and management. *CML-Pulmonary Hypertension.* 2012; 3(4): 105-115.
- 72) Shirai Y, Yasuoka H, Takeuchi T, Satoh T, and Kuwana M. Intravenous epoprostenol treatment of patients with connective tissue disease and pulmonary arterial hypertension at a single center. *Mod. Rheumatol.* In press.
- 73) 桑名正隆, 肺動脈性肺高血圧症診療の治療の新展開; 膠原病性肺動脈性肺高血圧症診療の新展開～早期介入・免疫抑制療法～, 炎症と免疫, 2012, 20(5), 504-507
- 74) 桑名正隆, 肺高血圧診療の最前線; 膠原病疾患に伴う肺高血圧: 強皮症に合併する肺高血圧を中心に, *Pharma Medica*, 2012, 30(11), 23-27
- 75) Kodo K, Nishizawa T, Furutani M, Arai S, Ishihara K, Oda M, Makino S, Fukuda K, Takahashi T, Matsuoka R, Nakanishi T, Yamagishi H. Genetic analysis of essential cardiac transcription factors in 256 patients with non-syndromic congenital heart defects. *Circulation Journal* 2012;76(7):1703-1711.
- 76) Takagaki Y, Yamagishi H, Matsuoka R. Factors Involved in Signal Transduction During Vertebrate Myogenesis. *International Review of Molecular Biology* 2012;296:187-272.
- 平成25年度
- 1) Sadahiro T, Tamura Y, Mitamura H, Fukuda K. Blood-injection-injury phobia: profound sinus arrest. *Int J Cardiol.* 168(2):e74-5, 2003
- 2) Tamura Y, Ono T, Fukuda K, Satoh T, Sasayama S. Evaluation of a new formulation of epoprostenol sodium in Japanese patients with pulmonary arterial hypertension (EPITOME4). *Adv Ther.* 30(5):459-71 2013
- 3) Nakano S, Sujino Y, Tanno J, Ariyama M, Muramatsu T, Senbonmatsu T, Nishimura S, Tamura Y, Fukuda K. Inducible intrapulmonary arteriovenous shunt in a patient with beriberi heart. *Am J Respir Crit Care Med.* 187(3):332-3, 2013
- 4) Kabata H, Satoh T, Kataoka M, Tamura Y, Ono T, Yamamoto M, Huqun, Hagiwara K, Fukuda K, Betsuyaku T, Asano K. BMPR2 mutations, clinical phenotypes and outcomes of Japanese patients with sporadic or familial pulmonary hypertension. *Respirology.* 2013 May 15.
- 5) 佐藤徹: 聴診が心エコー検査に役立った症例. *心エコー.* 14-4: 388-395, 2013.
- 6) 佐藤徹: 肺高血圧症治療の現状. *ドクターサロン* 57-5: 17-20, 2013.
- 7) 佐藤徹: 肺高血圧症治療薬 ～軽症または中等症例における使用指針: 内科9 臨床雑誌 112-3: 433-438, 2013.
- 8) 佐藤徹: 肺高血圧症の診察所見一 特に S3, S4 について. *心エコー* 14-4: 368-395, 2013.
- 9) M.M.Hoeper, R.J.Barst, R.C.Bourge, J.Feldman, A.E.Frost, N.Galie, M.A.Gomez-Sanchez, F.Grimminger, E.Grunig, P.M.Hassoun, N.W.Morrel, A.J.Peacoc, T.Satoh, G.Simonneau, V.F.Tapson, F.Torres, D.Lawrence, D.A.Quinn, H-A.Ghofrani: Imatinib Mesylate as Add-on Therapy for Pulmonary Arterial Hypertension. *Circulation* 127:1128-1138, 2013.
- 10) 佐藤徹: 特集 肺高血圧症制圧のための完全ガイド企画にあたって. *Heart View* 別冊, 17-7: 6-7, 2013.
- 11) Toru Satoh: Medical Therapy of Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension.

Circulation Journal 77 : 1990-1991, 2013.

12) Takumi Inami, Masaharu Kataoka, Nobuhiko Shimura, Haruhisa Ishiguro, Ryoji Yanagisawa, Hiroki Taguchi, Keiichi Fukuda, Hideki Yoshino, Toru Satoh: Pulmonary Edema Predictive Scoring Index (PEPSI), a New Index to Predict Risk of Reperfusion Pulmonary Edema and Improvement of Hemodynamics in Percutaneous. JACC Cardiovascular Interventions 6-7, 725-736, 2013.

13) 佐藤徹: 肺動脈性肺高血圧症に対するチロシンキナーゼ抑制剤. 14回肺高血圧症治療研究会 Therapeutic Research 1194: 69-71, 2013.

14) 佐藤徹: 静脈圧、循環血液量、循環時間. 容積脈波、サーモグラフィ. 内科学書 Vol. 3 改訂第8版, 中山書店 70-71, 2013.

15) 長岡身佳、田口浩樹、伊波巧、石黒晴久、高昌秀安、米良尚晃、遠藤英仁、窪田博、佐藤徹、吉野秀朗: 冠動脈バイパス術後の左鎖骨下動脈狭窄による急性心不全に対して腋窩動脈バイパス術が有効であった1例. 心臓 45-9, 1139-1143, 2013

16) 佐藤徹: 肺高血圧症の臨床症状と検査所見. 日本胸部臨床 68-12, 1122-1129, 2013.

17) 佐藤徹: 肺高血圧症とは何か. HEART 27-1, 98-104, 2014.

14) 佐藤徹: 慢性血栓塞栓症肺高血圧症: 内科的治療の展開. 循環器内科 74-6, 591-598, 2014.

18) 佐藤徹: 心不全の身体所見. 心臓 46-1, 138-141, 2014.

19) 乾俊哉、石井晴之、石田学、小田未来、小川ゆかり、横山恵美、渡部雅人、倉井大輔、坂田好、佐藤徹、滝澤始、後藤元: 明らかな肺線維症を伴わず肺高血圧症を合併したサルコイドーシスの1例. 日本胸部臨床 73-1, 91-96, 2014.

20) 佐藤徹: 日本人肺動脈性肺高血圧症の病態・遺伝学的特徴. 分子呼吸器病 18-1, 84-87, 2014.

21) 佐藤徹: 肺高血圧. 呼吸と循環 69-4, 338-344, 2014.

22) 佐藤徹: 静脈圧、循環血液量、循環時間. 容積脈波、サーモグラフィ. 内科学書 Vol. 3 改訂第8版, 中山書店 70-71, 2013.

23) 佐藤徹: 右心系疾患に伴う肺高血圧症. 肺高血圧症の臨床 中西宣文編, 医薬ジャーナル社, 257-266, 2013.

24) Tada Y, Shimada H, Hiroshima K, Tagawa M. A potential therapeutic strategy for malignant mesothelioma with gene medicine. Biomed Res Int. 572609, 2013.

25) Sakao S, Tatsumi K. Crosstalk between endothelial cell and thrombus in chronic thromboembolic pulmonary hypertension: perspective. Histol Histopathol 28: 185-93, 2013.

26) Tsushima K, Yokoyama T, Koizumi T, Kubi

K, Tatsumi K. The concept study of recombinant human soluble thrombomodulin in patients with acute respiratory distress syndrome. Int J Clin Med 4: 488-495, 2013.

27) Kantake M, Tanabe N, Sugiura T, Shigeta A, Yanagawa N, Jujo T, Kawata N, Amano H, Matsuura Y, Nishimura R, Sekine A, Sakao S, Kasahara Y, Tatsumi K. Association of deep vein thrombosis type with clinical phenotype of chronic thromboembolic pulmonary hypertension. Int J Cardiol 165:474-477, 2013.

28) Sugiura T, Tanabe N, Matsuura Y, Shigeta A, Kawata N, Jujo T, Yanagawa N, Sakao S, Kasahara Y, Tatsumi K. Role of 320-slice computed tomography in the diagnostic of patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension. Chest 143(4): 1070-1077, 2013.

29) Kitazono S, Takiguchi Y, Ashinuma H, Saito-Kitazono M, Kitamura A, Chiba T, Sakaida E, Sekine I, Tada Y, Kurosu K, Sakao S, Tanabe N, Iwama A, Yokosuka O, Tatsumi K. Effect of metformin on residual cells after chemotherapy in a human lung adenocarcinoma cell line. International Journal of Oncology 43: 1846-1854, 2013.

30) Nishimura R, Tanabe N, Sugiura T, Shigeta A, Jujo T, Sekine A, Sakao S, Kasahara Y, Tatsumi K. Improved survival in medically treated chronic thromboembolic pulmonary hypertension. Circ J 77(8): 2110-2117, 2013.

31) Matsuura Y, Kawata N, Yanagawa N, Sugiura T, Sakurai Y, Sato M, Iesato K, Terada J, Sakao S, Tada Y, Tanabe N, Suzuki Y, Tatsumi K. Quantitative assessment of cross-sectional area of small pulmonary vessels in patients with COPD using inspiratory and expiratory MDCT. Eur J Radiol. E-pub Jun 12, 2013.

32) Ikari J, Inamine A, Yamamoto T, Watanabe-Takano H, Yoshida N, Fujimura L, Taniguchi T, Sakamoto A, Hatano M, Tatsumi K, Tokuhisa T, Arima M. Phf11 promotes class switch recombination to IgE in murine activated B-cells. Allergy 2013; DOI: 10.1111/all.12328.

33) Yamada Y, Terada J, Tatsumi K, Kono C, Tanno M, Takemura T, Yamaguchi Y. Respiratory bronchiolitis and lung carcinoma. Resp Inves 51: 184-190, 2013.

34) Sekine Y, Fujisawa T, Suzuki K, Tsutatanis S, Kubota K, Ikegami H, Isobe Y, Nakamura M, Takiguchi Y, Tatsumi K. Detection of



- Chronic Obstructive Pulmonary Disease in Community-Based Annual Lung Cancer Screening: Chiba COPD Lung Cancer Screening Study Group. *Respirology*. 2013 Aug 27. doi: 10.1111/resp.12179. [Epub ahead of print]
- 35) Okamoto S, Jiang Y, Kawamura K, Shingyoji M, Fukumachi T, Tada Y, Takiguchi Y, Tatsumi K, Shimada H, Hiroshima K, Kobayashi H, Tagawa M. Zoledronic acid produces combinatory anti-tumor effects with cisplatin on mesothelioma by increasing p53 expression levels. *PLoS One*. 8(3) E-pub Mar 28, 2013.
- 36) Kawamura K, Hiroshima K, Suzuki T, Chai K, Yamaguchi N, Shingyoji M, Yusa T, Tada Y, Takiguchi Y, Tatsumi K, Shimada H, Tagawa M. CD90 is a diagnostic marker to differentiate between malignant pleural mesothelioma and lung carcinoma with immune-histochemistry. *Am J Clin Pathol* 140:544-549, 2013.
- 37) Ozawa K, Funabashi N, Kataoka A, Tanabe N, Yanagawa N, Tatsumi K, Kobayashi Y. Myocardial fibrosis in the right ventricle detected on ECG gated 320 slice CT showed a short term poor prognosis in subjects with pulmonary hypertension. *Int J Cardiol*. 168(1): 584-586, 2013.
- 38) Ozawa K, Funabashi N, Kamata T, Tanabe N, Yanagawa N, Tatsumi K, Nomura F, Kobayashi Y. Better agreement between independent assessors of three-dimensional global longitudinal strain of whole right ventricle using transthoracic echocardiography than for other three-dimensional right ventricular parameters. E-pub Sep 9, 2013.
- 39) Ozawa K, Funabashi N, Tanabe N, Yanagawa N, Tatsumi K, Kataoka A, Kobayashi Y. Detection of right ventricular wall motion asynergy confirmed on four-dimensional 320-slice CT by two-dimensional global longitudinal strain of right ventricle using transthoracic-echocardiography in pulmonary hypertension. *Int J Cardiol*. E-pub Oct 5, 2013.
- 40) Tazawa R, Inoue Y, Arai T, Takada T, Kasahara Y, Hojo M, Ohkouchi S, Tsuchihashi Y, Yokoba M, Eda R, Nakayama H, Ishii H, Nei T, Morimoto K, Nasuhara Y, Ebina M, Akira M, Ichiwata T, Tatsumi K, Yamaguchi E, Nakata K. Duration of benefit in patients with autoimmune pulmonary alveolar proteinosis after inhaled GM-CSF therapy. *Chest*. 2013 Oct 24. doi:10.1378/chest.13-0603. [Epub ahead of print]
- 41) Shimomura I, Tada Y, Miura G, Suzuki T, Matsumura T, Tsushima K, Terada J, Kurimoto R, Sakaida E, Sekine I, Takiguchi Y, Yamamoto S, Tatsumi K. Choroidal Metastasis of Non-Small Cell Lung Cancer That Responded to Gefitinib. Case Report in *Ophthalmological Medicine*. Article ID 213124, 2013.
- 42) Sakurai Y, Tanabe N, Sekine A, Nishimura R, Jujo T, Kawasaki T, Sugiura T, Sakao S, Kasahara Y, Tatsumi K. Spontaneously remitted pulmonary arterial hypertension associated with the herbal medicine "bofutsushosan". *Intern Med*. 52(13): 1499-502. Epub Jul 1, 2013.
- 43) Suzuki T, Tada Y, Tsushima K, Terada J, Sakurai T, Watanabe A, Kasahara Y, Tanabe N, Tatsumi K. Pneumocystis pneumonia in everolimus therapy: An indistinguishable case from drug induced interstitial lung disease. *Respiratory Medicine Case Reports* 10: 27-30, 2013.
- 44) Suzuki T, Tsushima K, Sakurai Y, Yoshida S, Yoshino I, Tatsumi K. Severe tracheobronchial stenosis and bronchiectasis complicating colitis. *Respirology*. (in press)
- 45) 家里憲, 川田奈緒子, 巽浩一郎. ブデソニド/ホルモテロール配合剤の投与によりピークフロー日内変動が改善した COPD 合併喘息の 1 例. *呼吸と循環* 61(3): 285-288, 2013.
- 46) 永川博康, 猪狩英俊, 小西建治, 加志崎史大, 青山真弓, 渡邊哲, 巽浩一郎, 亀井克彦. 人口呼吸管理中に空洞穿破により緊張性気胸を併発した肺ムコール症の 1 剖検例. *Med Mycol J* 54: 285-289, 2013.
- 47) 吉田俊治. 肺高血圧症-日本から何が発信できるか わが国の膠原病性肺高血圧症 欧米例との差違. *Cardiac Practice*. 24(1):65-68. 2013
- 48) 松原広己. 肺高血圧に対するエボプロステノールの最適治療 セラピューティックリサーチ 34/9 1218-1220 2013
- 49) Fukumoto Y, Yamada N, Matsubara H, Mizoguchi M, Uchino K, Yao A, Kihara Y, Kawano M, Watanabe H, Takeda Y, Adachi T, Osanai S, Tanabe N, Inoue T, Kubo A, Ota Y, Fukuda K, Nakano T, Shimokawa H. Double-blind, placebo-controlled clinical trial with a rho-kinase inhibitor in pulmonary arterial hypertension. *CircJ* 77/ 10 2619-2625 2013
- 50) Ogawa A, Yamadori I, Matsubara O,

**Matsubara H.** Pulmonary tumor thrombotic microangiopathy with circulatory failure treated with imatinib. *Intern Med* 52/17 1927-1930 2013

51) Ogawa A, Ejiri K, **Matsubara H.** Long-term patient survival with idiopathic/heritable pulmonary arterial hypertension treated at a single center in Japan. *Life Sciences* S0024-3205(14) [Epub ahead of print] 2014

52) Alzoubi A, Toba M, **Abe K**, O'Neill KD, Rocic P, Fagan KA, McMurtry IF, Oka M. Dehydroepiandrosterone Restores Right Ventricular Structure and Function in Rats with Severe Pulmonary Arterial Hypertension. *Am J Physiol Heart Circ Physiol.* *Am J Physiol Heart Circ Physiol.* 15;304(12):H1708-18, 2013.

53) Yonezawa M, Nagao M, **Abe K**, Matsuo Y, Baba S, Kamitani T, Isoda T, Maruoka Y, Jinnouchi M, Yamasaki Y, Abe K, Higo T, Yoshiura T, Honda H. Relationship between impaired cardiac sympathetic activity and spatial dyssynchrony in patients with non-ischemic heart failure: Assessment by MIBG scintigraphy and tagged MRI. *J Nucl Cardiol.* 20(4): 600-8, 2013.

54) **Abe K.** Noninvasive and accurate evaluation of cardiac output in patients with pulmonary hypertension. *Circ J.* 23; 77(9): 2251-2, 2013.

55) Toba M, Alzoubi A, O'Neill K, **Abe K**, Urakami T, Komatsu M, Järvinen TAH, Mann D, Ruoslahti E, McMurtry IF, Oka M. A novel strategy to selectively enhance pulmonary drug efficacy in pulmonary arterial hypertension. *Am J Pathol.* 184(2):369-75, 2014.

56) Toba M, Alzoubi A, O'Neill K, **Abe K**, Gairhe S, Matsumoto Y, Oshima K, Oka M, McMurtry IF. Temporal hemodynamic and histological progress in Sugen5416/hypoxia/normoxia-exposed pulmonary arterial hypertensive rats. *Am J Physiol Heart Circ Physiol.* 15;306(2):H243-50, 2014.

57) Nagao M, Matsuo Y, Kamitani T, Yonezawa M, Yamasaki Y, Kawanami S, **Abe K**, Mukai Y, Higo T, Yabuuchi H, Takemura A, Yoshiura T, Sunagawa K, Honda H. Quantification of myocardial iron deficiency in nonischemic heart failure by cardiac t2\* magnetic resonance imaging. *Am J Cardiol.* 15;113(6):1024-30, 2014.

58) **Kuwana M**, Watanabe H, Matsuoka N, and Sugiyama N. Pulmonary arterial hypertension associated with connective tissue disease: meta-analysis of clinical trials. *BMJ Open.* 2013; 3: e003113.

59) Shirai Y, Yasuoka H, Takeuchi T, Satoh T, and **Kuwana M.** Intravenous epoprostenol treatment of patients with connective tissue disease and pulmonary arterial hypertension at a single center.

*Mod. Rheumatol.* 2013; 23(6): 1211-1220.

60) **桑名正隆:** 多方面からの肺高血圧症へのアプローチ; 膠原病に伴う肺高血圧症. *呼吸と循環* 61(12): 1117-1122, 2013.

61) Shirai Y, Tamura Y, Yasuoka H, Satoh T, and **Kuwana M.** IgG4-related disease in pulmonary arterial hypertension on longterm epoprostenol treatment (letter). *Eur. Respir. J.* In press.

62) Fukushima H, Mitsushashi T, Oto T, Sano Y, Kusano KF, Goto K, Okazaki M, Date H, Kojima Y, **Yamagishi H**, Takahashi T. Successful lung transplantation in a case with diffuse pulmonary arteriovenous malformations and hereditary hemorrhagic telangiectasia. *Am J Transplant.* 2013; 13(12): 3278-81.

63) Wada R, Muraoka N, Inagawa K, Yamakawa H, Miyamoto K, Sadahiro T, Umei T, Kaneda R, Suzuki T, Kamiya K, Tohyama S, Yuasa S, Kokaji K, Aeba R, Yozu R, **Yamagishi H**, Kitamura T, Fukuda K, Ieda M. Induction of human cardiomyocyte-like cells from fibroblasts by defined factors. *Proc Natl Acad Sci U S A.* 2013; 110(31): 12667-72.

64) 石崎 怜奈, **山岸 敬幸.** 【臨床医が知っておきたい先天異常】多因子遺伝による先天異常 先天性心疾患(解説/特集). *小児科臨床* 66巻増刊 p. 1411-1418 (2013. 07)

65) **山岸 敬幸.** 基礎 心臓の発生「房室中隔の発生」(解説). *日本小児循環器学会雑誌* 29巻2号 p. 68-74 (2013. 03)

66) **山岸 敬幸,** 柴田 映道, 石崎 怜奈. 【成人の先天性心疾患の現状を識る-診療体制から治療まで-】識る 先天性心疾患の遺伝とカウンセリング(解説/特集). *Heart View* 17巻9号 p. 982-987 (2013. 09)

67) 荒木 耕生, **山岸 敬幸.** 【わかる心電図-病態に迫る判読のコツ】刺激伝導系の発生(解説/特集). *小児科診療* 76巻11号 p. 1647-1652 (2013. 11)

68) **山岸 敬幸.** 先天性心疾患を理解するための臨床心臓発生学 心臓流出路の発生とその異常の新たな概念(解説). *日本周産期・新生児医学会雑誌* 49巻4号 p. 1179-1182 (2013. 12)

2. 学会発表  
平成24年度

- 1) 佐藤徹 第13回肺高血圧症治療研究会：肺高血圧症の診察所見—特にS3, S4について 2012年6月2日
- 2) 第109回 日本内科学会講演会(京都)  
4月13日 教育講演  
肺高血圧症 最新の分類と治療の進歩 / 演者 中西宣文
- 3) 第52回 日本呼吸器病学会学術講演会(神戸)  
4月22日 特別講演  
肺血管・肺循環疾患の多様性と現在の主要課題 / 演者 中西宣文
- 4) 金森里美、吉田俊治他：第56回日本リウマチ学会総会・学術総会；当科におけるアバタセプトの使用経験～MTX併用例とMTX非併用例における有効性の検討、2012
- 5) 太田美幸、吉田俊治他：第56回日本リウマチ学会総会・学術総会；当科におけるエタネルセプトの有用性に関する検討、2012
- 6) 金森里美、吉田俊治他：第56回日本リウマチ学会総会・学術総会；当科におけるアバタセプトの使用経験～Bio Naïve例とBio既治療例における検討～、2012
- 7) 平野大介、吉田俊治他：第56回日本リウマチ学会総会・学術総会；生物学的製剤5剤無効例にゴリムマブが著効した関節リウマチの1例、2012
- 8) 登坂信子、吉田俊治他：第56回日本リウマチ学会総会・学術総会；難治性筋炎に対するIVIG治療4例の施行経験、2012
- 9) 三浦恵二、アウン桂子、吉田俊治、黒澤良和、第35回日本分子生物学会年会、2012年12月11-14日、「自己免疫疾患患者における細胞表面タンパクの不安定なエピトープに対する自己抗体：抗血管内皮細胞抗体検出のための新たなELISAの提案」
- 10) Ogawa A, Satoh T, Tamura Y, Matsubara H. Prognostic Factor for Survival in Japanese Patients with Idiopathic/Heritable Pulmonary Arterial Hypertension. *5<sup>th</sup> World Symposium on Pulmonary Hypertension.*
- 11) 八尾厚史 第48回日本小児循環器学会総会・学術集会パネルディスカッション 成人先天性心疾患の診体制とその方向、国立京都国際会議場、2012年7月7日
- 12) 2012 American Thoracic Society International Conference (May 18-23, 2012, San Francisco, USA)  
Abe K., Nagao M, Hirooka Y, Kishi T., Yonezawa M, Higo T, Ide T, and Sunagawa K. Cardiac Sympathetic Activity evaluated by <sup>123</sup>I-MIBG Myocardial Scintigraphy in Patients with Right Ventricular Dysfunction Associated with Pulmonary Arterial Hypertension  
13) 9<sup>th</sup> Scientific Symposium (July 7-8, 2012, Tokyo, Japan)  
Abe K. Treatment with Bosentan Improved Pulmonary Hypertension in a Patient with Idiopathic Interstitial Pneumonia  
14) 第33回日本循環制御医学会総会(栃木、2012年7月2日)  
阿部 弘太郎、廣岡 良隆、岸 拓弥、砂川 賢二：Iodine-123-Metaiodobenzylguanidine (MIBG) 心筋シンチグラフィを用いた肺動脈性肺高血圧症患者の右室の交感神経活動の評価  
15) 第60回日本心臓病学会総会(金沢、2012年9月15日)  
阿部 弘太郎、廣岡 良隆、米澤 政人、長尾 充展、岸 拓弥、砂川 賢二  
心臓MRIによる三尖弁輪収縮期移動距離(TAPSE)は肺高血圧症患者の右心機能評価に有用である  
16) 第77回日本循環器学会総会(横浜、2013年3月15-17日)  
Abe K., Hirooka Y, Oka M, McMurtry IF, Sunagawa K. Vasoconstriction is an important therapeutic target in severe pulmonary arterial hypertension.  
17) Kunita M, Abe K., Hirooka Y, Hirano K, Sunagawa K. A new endothelin receptor antagonist macitenta is a potent vasodilator in intrapulmonary arteries in rats with severe pulmonary hypertension.  
18) Kuwabara Y, Abe K., Hirano M, Hirooka Y, Hirano K, Sunagawa K. chronic administration of proteinase-activated receptor 1 (PAR-1) antagonist attenuated monocrotaline-induced pulmonary hypertension in rats.  
19) Nagao M, Yonezawa M, Abe K., Sakamoto I, Sunagawa K, Matsuo Y, Kamitani T, Jinnouchi M, Yamasaki Y, Higuchi K, Yamamura K, Yoshiura T, Honda H. Interventricular dyssynchrony using Cine-tagging MRI predicts right ventricular dysfunction in patients with adult congenital heart disease.  
20) 河原 吾郎、阿部 弘太郎、坂本 一郎、松浦 陽子、岸 拓弥、廣岡 良隆、砂川 賢二：希少疾患である肺高血圧症の教育活動により心エコー技師への肺高血圧症に対する評価意識が高まる  
21) 桑名正隆：強皮症の病態と新たな治療標的。第49回日本臨床分子医学会学術集会(京都)。2012. 4. (シンポジウム1: 炎症の慢性化と臓器線維化)  
22) 桑名正隆：教育研修講演 1; 膠原病に合併する肺高血圧症の診断と治療。第56回日本リウマチ学会総会(東京)。2012. 4.  
23) 桑名正隆：ランチョンセミナー17; 膠原病における諸病態の一つとしての肺高血圧症。第56回日本リウマチ学会総会(東京)2012.

- 24) 小柳喬幸、安原潤、荒木耕生、石崎怜奈、柴田映道、前田潤、福島裕之、山岸敬幸。心房中隔欠損、肺高血圧症を合併した超低出生体重児 2 例。臨床小児肺循環研究会 2012. 6. 22 東京
- 25) 福島裕之、石崎玲奈、安田幹、小柳喬幸、柴田、古道一樹、河野一樹、前田潤、山岸敬幸。小児および先天性心疾患に伴う肺高血圧症に対するタダラフィルの使用経験。第 48 回日本小児循環器学会 2012. 7. 5-7 京都
- 26) 安田幹、石崎怜奈、宮原瑤子、小柳喬幸、柴田映道、古道一樹、前田潤、福島裕之、山岸敬幸。肝移植 10 年後に肺動脈性肺高血圧症を発症した先天性胆道閉鎖症例。第 48 回日本小児循環器学会 2012. 7. 5-7 京都
- 27) 小柳喬幸、柴田映道、潟山亮平、古道一樹、河野一樹、下島直樹、前田潤、福島裕之、黒田達夫、饗庭了、山岸敬幸。先天性胆道閉鎖・生体肝移植後に TCPS 手術を行った内臓錯位症候群の症例。第 48 回日本小児循環器学会 2012. 7. 5-7 京都
- 28) 小柳喬幸、荒木耕生、安原潤、石崎怜奈、柴田映道、前田潤、福島裕之、山岸敬幸。Fallot 四徴症の肺高血圧に対する薬物治療の現状。第 14 回東京循環器小児科治療 Agora 2012. 10. 6 東京
- 29) Yamagishi H. Possible use of pulmonary vasodilators for a variety of congenital heart diseases. The 9th Scientific Symposium 2012.7.8 Tokyo

#### 平成 25 年度

- 1) 田村雄一：神経線維腫症に合併する肺高血圧。14 回肺高血圧症治療研究会 2013.6.8 東京
- 2) 田村雄一、桑名正隆。第 2 回日本肺循環学会学術集会。2013.6.22-23。膠原病性肺高血圧症に合併する左室機能障害
- 3) 田村雄一、小野智彦、福田恵一、佐藤徹、篠山重威。第 61 回日本心臓病学会学術集会シンポジウム。2013.9.20-22 熊本。肺高血圧症治療のトピックス 肺動脈性肺高血圧症患者における常温安定性エポプロステノール製剤への切替え第 3b 相試験 (EPITOME-4)
- 4) 小野智彦、田村雄一、山本恒久、武井眞、宗形昌儒、福田恵一。第 61 回日本心臓病学会学術集会。2013.9.20-22 熊本。骨髄移植後に発症した重症肺動脈性肺高血圧症の一例
- 5) 南方友吾、田村雄一、木村舞、小野智彦、武井眞、山本恒久、江頭徹、藤田淳、前川裕一郎、佐野元昭、福田恵一。第 61 回日本心臓病学会学術集会。2013.9.20-22 熊本。右心不全を伴う門脈肺高血圧症に肺血管拡張薬とトルバプタンの併用が奏効した一例
- 6) 木村舞、田村雄一、小野智彦、武井眞、山本恒久、片岡雅晴、川上崇史、佐野元昭、佐藤徹、福田恵一。肺動脈性肺高血圧症に対する PDE5 阻害薬 2 剤併用療法の有効性の検討。第 61 回日本心臓病学会学術集会。2013.9.20-22 熊本。
- 7) 田村雄一。ランチョンセミナー 右心不全における利尿薬の使い方。第 1 回日本肺高血圧学会学術集会 2013.10.13-14 横浜。
- 8) 田村雄一。ミートザエキスパート How to エポプロステノール導入。第 1 回日本肺高血圧学会学術集会 2013.10.13-14 横浜。
- 9) 田村雄一。プレナリーセッション。第 1 回日本肺高血圧学会学術集会 2013.10.13-14 横浜。5 群に属する希な肺高血圧症疾患にともなう肺高血圧症
- 10) 山本恒久、田村雄一、河村朗夫、木村舞、武井眞、村田光繁、川上崇史、福田恵一。第 1 回日本肺高血圧学会学術集会 2013.10.13-14 横浜。PDE5 阻害薬併用で Treatment-and-Repair が行えた ASD-PAH の一例
- 11) 木村舞、田村雄一、小野智彦、武井眞、山本恒久、片岡雅晴、川上崇史、佐野元昭、佐藤徹、福田恵一。第 1 回日本肺高血圧学会学術集会 2013.10.13-14 横浜。肺動脈性肺高血圧症に対する PDE5 阻害薬 2 剤併用療法の有効性。
- 12) 高田裕美、田村雄一。第 1 回日本肺高血圧学会学術集会 2013.10.13-14 横浜。肺高血圧症患者の皮膚症状と QOL の関連性
- 13) 武井眞、田村雄一、小野智彦、木村舞、山本恒久、福田恵一。第 1 回日本肺高血圧学会学術集会 2013.10.13-14 横浜。肺高血圧症の各病型における肺内シャント率の検討
- 14) 田村雄一。第 50 回記念日本臨床生理学会総会シンポジウム 8「肺高血圧症の診断と治療の進歩」。2013.11.8-9。東京。膠原病性肺高血圧症に合併する左室機能障害
- 15) 田村雄一。第 2 回日本肺循環学会学術集会シンポジウム肺高血圧診療の新しいガイドライン。2013.11.28-30。埼玉。稀な疾患にともなう肺高血圧症
- 16) Tamura Y, Ono T, Fukuda K, Satoh T, Sasayama S. EPITOME-4, an open-label phase 3b study evaluating a new formulation of epoprostenol sodium in Japanese pulmonary arterial hypertension patients following switch from Flolan European Society of Cardiology 2013 at Amsterdam.
- 17) Sekine A, Tanabe N, Suda R, Nishimura R, Jujo T, Sugiura T, Sakao S, Kasahara Y, Tatsumi K. Mixed venous oxygen tension affects the prognosis on pulmonary hypertension even in recent era. World Symposium on Pulmonary Hypertension, 2013. 2013.2.27-3.1, Nice, France.
- 18) Ichimura Y, Tanabe N, Sugiura T, Sekine A, Suda R, Sakao S, Kasahara Y, Tatsumi K. Clinical characteristics and prognosis of pulmonary arterial hypertension with mottled like pattern on lung perfusion scans in recent era. World Symposium on Pulmonary Hypertension, 2013. 2013.2.27-3.1, Nice, France.
- 19) Tanabe N, Shigeta A, Sugiura T, Nishimura R, Jujo T, Ichimura Y, Sakao S,

- Kasahara Y, Tatsumi K. G protein  $\beta 3$  subunit GNB3 C825T polymorphism affects the efficacy of sildenafil on pulmonary hypertension. World Symposium on Pulmonary Hypertension, 2013. 2013.2.27-3.1, Nice, France.
- 20) Suda R, Tanabe N, Kato F, Sekine A, Ichimura Y, Nishimura R, Jujo T, Sugiura T, Shigeta A, Sakao S, Kasahara Y, Tatsumi K. Diffusing capacity for carbon monoxide and mortality in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension. World Symposium on Pulmonary Hypertension, 2013. 2013.2.27-3.1, Nice, France.
- 21) Sugiura T, Tanabe T, Mastuura Y, Kawata N, Yanagawa N, Sekine A, Suda R, Jujo T, Sakao S, Kasahara Y, Tatsumi K. Quantitative measurement of cross-sectional area of small pulmonary vessels using non-enhanced computed tomography in chronic thromboembolic pulmonary hypertension. World Symposium on Pulmonary Hypertension, 2013. 2013.2.27-3.1, Nice, France.
- 23) Yanagawa N, Tanabe N, Tatsumi K, Kobayashi Y, et al. Diagnosis of Right Ventricular Myocardial Fibrosis Using Right Ventricular Myocardial CT Attenuation, Wall Thickness and Motion on ECG-Gated 320 Slice CT by CT in Subjects with Pulmonary Hypertension. American College of Cardiology Meeting 2013 Scientific Sessions. 2013.3.9-11, San Francisco, USA.
- 24) Jujo T, Sakao S, Ueda H, Ishida K, Sugiura T, Kasahara Y, Tanabe N, Masuda M, Tatsumi K. Distal pulmonary vascular remodeling in the patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension (CTEPH). American Thoracic Society International Conference 2013. 2013.5.17-22 Philadelphia USA.
- 25) Inoue Y, Arai T, Nakata K, Yamaguchi E, Ichihata T, Ebina M, Tazawa R, Ishii H, Setoguchi Y, Kitaichi M, Akira M, Tatsumi K, Nasuhara Y, Cho K, Tsuchihashi Y, Uchida K, Takada T, Nakayama H, Tomii K, Sugimoto C, Kohashi Y, Ohkouchi S, Kasahara Y, Morimoto K, Nakatani T, Tsuyuguchi K. MD1 Longitudinal Cohort Of Autoimmune Pulmonary Alveolar Proteinosis. American Thoracic Society International Conference 2013. 2013.5.17-22 Philadelphia USA.
- 26) Tagawa M, Chai K, Jiang Y, Kawamura K, Yang S, Ogino A, Yamaguchi N, Kato K, Tada Y, Takiguchi Y, Tatsumi K, Shimada H, Hiroshima K, Kubo S. Anti-tumor effects of Ad-p53 on INK4A/ARF-defective mesothelioma are influenced positively by small G protein inhibitors but negatively by heat shock protein 90 inhibitors. 16th Annual Meeting American Society Cell Therapy. 2013.5.15-18 Salt Lake City USA.
- 27) Suzuki T, Iesato K, Kawata N, Terada J, Tsushima K, Tada Y, Yanagawa N, Kasahara Y, Tanabe N, Tatsumi K. Cross sectional and longitudinal analysis of the relationship between the COPD Assessment Test, multi detector-row CT and pulmonary function tests. European Respiratory Society Annual Congress 2013. 2013.9.7-11 Barcelona, Spain.
- 28) Ozawa K, Funabashi N, Kamata T, Yanagawa N, Tanabe N, Tatsumi K, Nomura F, Kobayashi Y. Utility of Three-Dimensional Global Longitudinal Strain of Right Ventricle Using Transthoracic Echocardiography for Right Ventricular Systolic Function in Pulmonary Hypertension Subjects. American Heart Association Scientific Session 2013. 2013.11.16-20, Dallas USA.
- 29) Ozawa K, Funabashi N, Kamata T, Yanagawa N, Tanabe N, Tatsumi K, Nomura F, Kobayashi Y. 3D right ventricular volume and systolic function were predicted by 2D and 3D global longitudinal strain of right ventricular myocardium using transthoracic echocardiography in population including pulmonary hypertensive patients. American Heart Association Scientific Session 2013. 2013.11.16-20, Dallas USA.
- 30) Ozawa K, Funabashi N, Kamata T, Yanagawa N, Tanabe N, Tatsumi K, Nomura F, Kobayashi Y. Right Ventricular End Diastolic and Systolic Volume Measurements on ECG-Gated 320 Slice CT Could Predict Occurrence of Adverse Events in Subjects with Pulmonary Hypertension. A Study with a Median of 18 Months Follow-Up. American Heart Association Scientific Session 2013. 2013.11.16-20, Dallas USA.
- 31) Ozawa K, Tanabe N, Tatsumi K, Kobayashi Y. et al. Agreement between independent assessors of three-dimensional global longitudinal strain of right ventricle free wall using transthoracic echocardiography and other three-dimensional right ventricular parameters in a population >50% pulmonary



hypertension. American Herat Association Scientific Session 2013. 2013.11.16-20, Dallas USA.

32) Ozawa K, Funabashi N, Kamata T, Yanagawa N, Tanabe N, Tatsumi K, Nomura F, Kobayashi Y. Right Ventricular End Diastolic and Systolic Volume Measurements on ECG-Gated 320 Slice CT Could Predict Occurrence of Adverse Events in Subjects with Pulmonary Hypertension. A Study with a Median of 18 Months Follow-Up. American Herat Association Scientific Session 2013. 2013.11.16-20, Dallas USA.

33) Ozawa K, Tanabe N, Tatsumi K, Kobayashi Y. et.al. Prediction of adverse events using myocardial fibrosis in right ventricle on ECG gated 320 slice CT in subjects with pulmonary hypertension. A study with a Median of 18 Months Follow-Up. American Herat Association Scientific Session 2013. 2013.11.16-20, Dallas USA.

34) Tatsumi K, Sakurai Y, Sekine A, Nishimura R, Jujo T, Kawasaki T, Sugiura T, Sakao S, Kasahara Y, Tanabe N. A case of spontaneously remitted pulmonary arterial hypertension associated with herbal medicine. 18th Asian Pacific Society of Respirology. 2013.11.11-14 Yokohama.

35) 巽浩一郎. イブニングセミナー: COPD と喘息のオーバーラップ症候群. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会 2013. 4. 19-21 東京.

36) 坂尾誠一郎. シンポジウム 17 急性肺損傷・肺循環障害の分子病態 肺血管原性肺高血圧症の分子病態. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会 2013. 4. 19-21 東京

37) 巽浩一郎, 田邊信宏, 坂尾誠一郎, 笠原靖紀. シンポジウム「Out of proportion を含めた呼吸器疾患関連肺高血圧症」呼吸器疾患に伴う肺高血圧症. 第 2 回日本肺循環学会学術集会 2013. 6. 22-23 東京.

38) 巽浩一郎. 教育講演: 呼吸器疾患と肺高血圧. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 2013. 10. 10-11 東京.

39) 巽浩一郎. プレナリーセッション「From Nice to Japan: 新しいガイドラインの展望」呼吸器疾患に伴う肺高血圧症. 第 1 回日本肺高血圧学会学術集会 2013. 10. 13-14 横浜.

40) 重城喬行, 坂尾誠一郎, 植田初江, 石田敬一, 田邊信宏, 増田政久, 巽浩一郎. Young Investigation Award Session. 慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症の末梢血管病変の検討. 第 1 回日本肺高血圧学会学術集会 2013. 10. 13-14 横浜.

41) 須田理香, 田邊信宏, 加藤史照, 漆原崇司, 竹内孝夫, 笠井大, 関根亜由美, 西村倫太郎, 重城喬行, 重田文子, 杉浦寿彦, 坂尾誠一郎, 笠原靖紀, 巽浩一郎. 慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症患者における予後、画像等臨床指標と DLCO との関係. 第 5 回呼吸機能イメージング研究会学術集会 2012. 2. 10 大津.

42) 笠井大, 田邊信宏, 杉浦寿彦, 松浦有紀子, 矢幅美鈴, 櫻井由子, 重田文子, 坂尾誠一郎, 笠原靖紀, 巽浩一郎. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症における心電図同期 320 列 CT により測定した肺動脈進展性と右心カテーテル検査所見の比較. 第 5 回呼吸機能イメージング研究会学術集会 2012. 2. 10 大津.

43) 杉浦寿彦, 田邊信宏, 松浦有紀子, 梁川範幸, 川田奈緒子, 笠井大, 坂尾誠一郎, 笠原靖紀, 巽浩一郎. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症患者における高分機能 CT を用いた肺末梢血管の評価. 第 5 回呼吸機能イメージング研究会学術集会 2012. 2. 10 大津.

44) 杉浦寿彦, 笠原靖紀, 東出高至, 梁川範幸, 坂尾誠一郎, 田邊信宏, 巽浩一郎. 肺動静脈瘻に対する経カテーテル的コイル塞栓術の長期的治療効果について~320 列 CT を用いた Dynamic 4DCT によるコイル再疎通の評価. 第 5 回呼吸機能イメージング研究会学術集会 2012. 2. 10 大津.

45) 矢幅美鈴, 川田奈緒子, 梁川範幸, 杉浦寿彦, 笠井大, 松浦有紀子, 櫻井由子, 家里憲, 多田裕司, 田邊信宏, 巽浩一郎. COPD 患者の吸気呼気の気道内腔面積と呼吸機能・気腫病変に関する検討. 第 5 回呼吸機能イメージング研究会学術集会 2012. 2. 10 大津.

46) 梁川範幸, 川田奈緒子, 松浦有紀子, 矢幅美鈴, 櫻井由子, 家里憲, 多田裕司, 田邊信宏, 巽浩一郎. 気管支ファントムによる測定誤差の検討. 第 5 回呼吸機能イメージング研究会学術集会 2012. 2. 10 大津.

47) 鈴木敏夫, 寺田二郎, 櫻井隆之, 津島健司, 多田裕司, 笠原靖紀, 田邊信宏, 巽浩一郎. 潰瘍性大腸炎に合併した左気管支狭窄の一例. 第 163 回日本結核病学会関東支部会 第 203 回日本呼吸器学会関東地方会 2013. 2. 23 東京.

48) 栗本遼太, 堺田恵美子, 関根郁夫, 黒須克志, 多田裕司, 巽浩一郎, 高橋葉子, 中谷行雄, 滝口裕一. ベメトレキセドが原因と考えられた肺胞出血の 1 例. 第 166 回日本肺癌学会関東支部会 2013. 3. 16 東京.

49) Tanabe N. The routine use of IVC filter in non-massive pulmonary embolism. 第 77 回日本循環器学会学術集会 2013. 3. 15-17 横浜.

- 50) Sakao S, Tanabe N, Tatsumi K. Characterization of cells from endarterectomized tissues in the patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension. 第 77 回日本循環器学会学術集会 2013. 3. 15-17 横浜.
- 51) 杉浦寿彦, 田邊信宏, 松浦有紀子, 川田奈緒子, 重田文子, 坂尾誠一郎, 笠原靖紀, 巽浩一郎. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症の診断・病勢評価における 320 列 CT の有用性についての検討. 第 110 回日本内科学会講演会 2013. 4. 12-13 東京.
- 52) 鈴木敏夫, 家里憲, 川田奈緒子, 寺田二郎, 坂尾誠一郎, 黒須克志, 笠原靖紀, 田邊信宏, 巽浩一郎. COPD アセスメントテスト (CAT) による患者病態評価の有用性. 第 110 回日本内科学会講演会 2013. 4. 12-13 東京.
- 53) 重田文子, 多田裕司, 家里憲, 笠原靖紀, 滝口裕一, 田邊信宏, 巽浩一郎. 可溶性 CD40 リガンド濃度と COPD 重症度の相関. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会 2013. 4. 19-21 東京.
- 54) 田邊信宏, 谷口博之, 辻野一三, 坂巻文雄, 江本憲昭, 中村篤宏, 宮地克維, 高村圭, 木村弘, 西村正治, 巽浩一郎. 呼吸器疾患に伴う重症肺高血圧症の病態、予後について. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会 2013. 4. 19-21 東京.
- 55) 村瀬公彦, 赤柴恒人, 巽浩一郎, 井上雄一, 佐藤誠, 櫻井滋, 榊原博樹, 木村弘, 宮崎総一郎, 津田徹, 別所和久, 吉田和也, 陳和夫. 肥満残存肺高血圧合併閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA) 患者に対する防風通聖散及び大柴胡湯の治療効果の比較. 梅澤弘毅, 小笠原隆, 加藤慎平, 矢野利章, 笠松紀雄, 橋爪一光. 誤嚥性肺炎におけるプロカルシトニンガイド下抗菌薬使用の有効性、安全性評価. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会 2013. 4. 19-21 東京.
- 56) 関根亜由美, 田邊信宏, 坂尾誠一郎, 西村倫太郎, 笠井大, 竹内孝夫, 須田理香, 加藤史照, 重城喬行, 杉浦寿彦, 重田文子, 笠原靖紀, 巽浩一郎. 肺血管原性高血圧症における混合静脈酸素分圧の予後に及ぼす影響について. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会 2013. 4. 19-21 東京.
- 57) 矢幅美鈴, 川田奈緒子, 梁川範幸, 杉浦寿彦, 笠井大, 松浦有紀子, 櫻井由子, 家里憲, 多田裕司, 田邊信宏, 巽浩一郎. COPD 患者の吸気呼気の気道内腔面積と呼吸機能・気腫病変に関する検討. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会 2013. 4. 19-21 東京.
- 58) 梁川範幸, 川田奈緒子, 松浦有紀子, 矢幅美鈴, 櫻井由子, 杉浦寿彦, 家里憲, 多田裕司, 田邊信宏, 巽浩一郎. 気管支ファントムの検討.
- 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会 2013. 4. 19-21 東京.
- 59) 杉浦寿彦, 笠原靖紀, 田邊信宏, 巽浩一郎. 肺動静脈瘻に対する経カテーテル的コイル塞栓術の長期的治療効果について. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会 2013. 4. 19-21 東京.
- 60) 田邊信宏, 巽浩一郎. 日本呼吸器学会認定および関連施設における呼吸器疾患に伴う肺高血圧症の実態調査. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会 2013. 4. 19-21 東京.
- 61) 田邊信宏, 笠原靖紀, 巽浩一郎. 千葉県における臨床調査個人票に基づく慢性血栓塞栓性肺高血圧症の予後に関する研究. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会 2013. 4. 19-21 東京.
- 62) 笠原靖紀, 田邊信宏, 巽浩一郎. 千葉県における臨床調査個人票に基づく肺動脈性肺高血圧症の予後調査. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会 2013. 4. 19-21 東京.
- 63) 江間亮吾, 杉浦寿彦, 田邊信宏, 内藤亮, 笠井大, 加藤史照, 須田理香, 竹内孝夫, 関根亜由美, 西村倫太郎, 重城喬行, 重田文子, 坂尾誠一郎, 笠原靖紀, 巽浩一郎. 急性から慢性への過程で、片側肺動脈影の消失を観察しえた慢性肺血栓塞栓症の 3 例. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会 2013. 4. 19-21 東京.
- 64) 杉浦寿彦, 田邊信宏, 松浦有紀子, 川田奈緒子, 梁川範幸, 笠井大, 坂尾誠一郎, 笠原靖紀, 巽浩一郎. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症患者における高分解 CT を用いた肺末梢血管の評価. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会 2013. 4. 19-21 東京.
- 65) 笠井大, 田邊信宏, 杉浦寿彦, 櫻井由子, 矢幅美鈴, 松浦有紀子, 重田文子, 川田奈緒子, 坂尾誠一郎, 笠原靖紀, 巽浩一郎. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症における電図同期 320 列 CT により測定した肺動脈伸展性と右心カテーテル検査所見の比較. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会 2013. 4. 19-21 東京.
- 66) 漆原崇司, 田邊信宏, 須田理香, 加藤史照, 笠井大, 関根亜由美, 西村倫太郎, 重城喬行, 杉浦寿彦, 坂尾誠一郎, 笠原靖紀, 巽浩一郎. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症の QOL に影響する因子の検討. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会 2013. 4. 19-21 東京.
- 67) 黒須克志, 寺田二郎, 市村康典, 重田文子, 家里憲, 坂尾誠一郎, 多田裕司, 笠原靖紀, 坂尾誠一郎, 多田裕司, 笠原靖紀, 梁川範幸, 田邊信宏, 滝口裕一, 巽浩一郎. 肺サルコイドーシスにおける胸部 CT による肺葉分割の検討. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会 2013. 4. 19-21 東京.